

科目名	財政学	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	根岸 睦人	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-01-A-1-110019	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	<p>グローバル化が進展し国際的な経済競争が激化する一方で、社会における世代間・地域間・性別間・階層間の対立は強まっており、政府が果たすべき役割は大きくなっている。しかし、財政システムは財政赤字、負担の公平性、社会保障制度の持続可能性といった面で多くの問題を抱えている。財政の役割と諸問題を理解し、自ら考える力を身につけるため、本講義では財政の理解に重要な項目（財政の機能、予算、経費、租税、公債、社会保障財政）ごとに、その理論と制度、歴史を学習する。</p> <p>当科目の内容は下記のディプロマポリシーと関連しています。</p> <p><情報技術の利活用方法を修得し、仕事や生にできること></p> <p><グローバルな課題への問題意識と国際教養を体得すること></p>				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会経済問題に対する関心を高め、その問題に対し政府がどのような役割を果たすべきかを考察する力を養う。 ・予算、経費、租税、公債、社会保障をめぐる理論と歴史、制度の特徴と問題点について理解し説明できること。 				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	財政学を学ぶ意味と方法 日本財政の現状（日本財政の現状と国際比較上の特徴について学ぶ）
第2回	現代財政の役割（1）（現代財政の役割として資源配分の調整、所得と富の再分配を学ぶ）
第3回	現代財政の役割（2）（現代財政の役割として景気の安定を学ぶ）

第4回	予算の意義と仕組み (1) (予算の意義と予算原則論について学ぶ)
第5回	予算の意義と仕組み (2) (日本の予算編成過程と予算改革論について学ぶ)
第6回	経費理論と日本の経費構造の歴史的变化
第7回	租税の理論 (租税の定義、租税根拠論、租税転嫁論について学ぶ)
第8回	租税の理論 (租税の経済効果、租税原則論、日本の租税構造の国際的特徴について学ぶ)
第9回	日本の税制 (1) (所得税の理論と制度について学ぶ)
第10回	日本の税制 (2) (消費税の理論と制度について学ぶ)
第11回	日本の公債制度 (公債発行の意義、日本国債の発行と償還制度について学ぶ)
第12回	公債の理論 (公債の経済効果を学ぶ)
第13回	財政の持続可能性をめぐる諸論点 (財政破綻とはどのような状況を指すのか、財政を持続可能にするための財政運営について学ぶ)

第14回	日本の社会保障財政の現状（日本の社会保障給付と負担の現状と国際比較上の特徴を学ぶ）
第15回	社会保障財政の各論（年金、医療、介護の制度と問題点について学ぶ）
第16回	定期試験

授業時間外の学習

【予習】時間・内容	2時間。講義資料の予習。メディアで取り上げられている財政に関する時事的な問題に関心を持ち、自分の考えを整理しておくこと。
【復習】時間・内容	2時間。講義内容を読み返し、自分なりに整理しておくこと。不明点を調べ理解しておくこと。

成績評価

評価基準・方法	成績評価は、期末試験85%、授業外レポート15%を合わせて総合的に評価する。
フィードバック方法	授業外で小レポートを課し、その内容について授業内で解説を行う。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	教科書：池上岳彦編著『現代財政を学ぶ』有斐閣ブックス（2,592円）。授業では適宜補足的なレジュメを配付する。 参考書：初回の講義で紹介する。
受講上の留意点等	政治経済社会に関する一般的知識を有し、かつ財政に対し高い関心を持っていることが望ましい。
JABEE	